



「キミの事が大好きだった」 本谷 ノア 佳作
大阪市立咲くやこの花中学校

シンプルですっきりとした画面でありながら見る者を決して飽きさせない、そこには確かな構成力が光っています。また、版画を思わせる繊細で印象的な線に透明感のある色彩が加わる事で、本谷さんの世界をしっかりと表現することができています。

このロボットが登場するお話を読みたいですね。



「朝」 石津 花華 佳作
大阪市立咲くやこの花中学校

朝食の準備中なのでしょうか、慌たしい中に「朝」という物語を感じます。淡い色調で統一された世界観と奥行きのある画面構成が素敵だと感じました。よく見るとテーブルクロス模様や猫の足跡模様になっていて細部まで楽しませてくれます。画面右下にいるのはお父さんなのか、主人公なのか…物語の続きを思わず考えてしまいますね。



「人間」 金田 陽和 佳作
大阪市立咲くやこの花中学校

インパクトのあるモチーフ選びと色彩、構図は、とある儀式の一場面や横尾忠則の世界観をも思わせる独特な表現になっています。

人間の外見のパーツを本来あるべき姿から解放する事で、人間とは何なのか、そんな疑問を力強く訴えかけることに挑戦したような作品です。



「一人十色」 上原 あき 佳作
大阪市立新東淀中学校

色鉛筆の柔らかく独特な色彩で描かれた作品です。タイトルの通り一人の人物の中に数多くの物事が混在し、それらに囲まれた彼女は何とも複雑そうな表情です。希望に溢れているようにも不安を抱えているようにも見えます。

思春期を生きる作者の心が投影された、造形と色彩の両方に独自のセンスが光る一枚です。



「幻影」 柏葉 志保 佳作
豊中市立第十七中学校

森の中を歩くのは、肉食動物であるホワイトタイガーと、草食動物である鹿でしょうか。ホワイトタイガーの足元が透けていることから、ただ歩いているだけではなく、まるで2匹の魂が寄り添い互いに呼応しているかのような不思議な「幻影」を想像させてくれました。私たち人間には立ち入る事の出来ないような、森の神秘を感じる作品です。



「時の過ぎ 消えた現実」 劉 君陶 佳作
堺市立殿馬場中学校

ローラーやスパッタリングなどで作った色遊びの画面に、石膏デッサンをカラーージュしたこの作品は、異色の存在感を放っていました。デッサンとペインティングという対照的な技法を画面の中で混ぜ合わせ、時間という見えにくいものを表現しようという試み、そして様々な感情の中で揺れ動く作者の心象風景をも表現しようとした意欲作です。



「共生」 鷗瀬 みり 佳作
大阪市立高津中学校

キリンやシマウマ、巨大な木、電柱などとあふれんばかりのモチーフが乗っているものは、鳥のようにも船のようにも見え、ストーリーを感じさせてくれます。

明るくさわやかな色調で描かれており、これからの未来において生き物や植物、自然界と人類との共生を願っているようにも受け止められますね。



「追われている自分」 白井 彩乃 佳作
堺市立月州中学校

左側の少女は白井さん自身なのか、あるいは周囲に存在する丹念に描かれた美しい蝶たちこそが実は本質的な自分自身なのか、何に追われているのか…。タイトルから、色々な想像をかき立てられます。

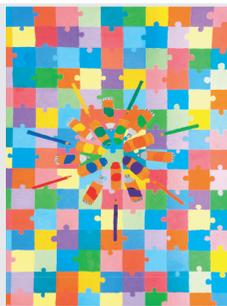
確かな描写力も手伝って、作品に説得力を増す事に成功していますね。



「夢」 藤野 珠輝 佳作
堺市立月州中学校

立方体、円すい、球…と色々な形のモチーフを使ってたくさんのイメージネーションが膨らんでいます。

画面左下にある肖像は自画像なのでしょう。色彩豊かに表現された幾何学な形を通して宇宙さへ感じます。指先から発せられる光は何かを示唆しているのか…デザインのセンスも絵画的センスも感じられる魅力的な作品です。



「World Color」 出村谷 奈緒 佳作
大阪市立墨江丘中学校

数ある絵画作品の中、デザイン要素に取り組んだこの作品に目が止まりました。背景に構成された色のパズルの平塗り、配色は見事なもので、とても一年生とは思えません。

欲を言えば、パズルの上に置かれた色鉛筆や絵の具の存在にメリハリが出てくると、もっとより良い作品になりますよ。これからの作品が楽しみです。



「ある部屋のあなたの上で」 赤秀 綾音 佳作
大阪市立墨江丘中学校

まるで絵本の一場面を見ているかのような印象を受けました。ある明るい屋下がり、木製の棚に置かれた人形と色とりどりの花たちの楽しげなおしゃべりが今にも画面の中から聴こえてきそうな、生き生きとした魅力あるイラスト作品です。色鉛筆を丹念に重ねて塗られた深い色合いが、画面の中に落ち着いた質感と優しい印象を与えています。

TEZUKAYAMA JUNIOR ART EXHIBITION

●●● 帝塚山ジュニアアート展 ●●●

第5回帝塚山ジュニアアート展へのご出品を
お待ちしております。